

1学年だより

夢の宅配便

1年学年主任
水野 喜代治

世の中、思い通りにはいかない NO7

約60年ばかり生きてきましたが、世の中は自分の思い通りにはなかなか行くものではないと痛感しています。ですので生きていくということは、思い通りにいかないことを受け止めていく日々でもあります。人は思い通りにいかないことに悩みますし、思い通りに運べなかった自分を嫌になることもあると思います。

中学生の時期は、このようになりたいという理想の自分と、そうなれていない自分の現実を受け止められなくて、自己嫌悪に陥ったりする時期でもあります。また、自分の思い通りいかない原因が、自分の責任でなく周りが悪いと考えて、社会に批判的な考えや不満を持つ人も出てきます。

自分のこれまでの人生を振り返ってみると、ほとんどが思い通りにはいきませんでした。受け止められなくて、涙を流したこともあります。しかし、どんなに自分が落ち込んでいても、受け止められないと周りに訴えても、世の中の流れは何事もなかったように無情に進んでいきます。ですから、いつまでも立ち止まって泣いてるわけにはいきません。涙をふいて、また、一步を踏み出さなければなりません。思い通りにいかなかった原因は何かを考えるのは大切ですが、いくら悩んだところで、時間を戻すことはできません。受け止めて、前に進むことが大切です。思い通りにならなかったのは、自分にその力がなかったか、そのものに手が届かなかったからだということになります。つまり、周りを批判しても自分に力をつけなければ状況は何も変わらないということです。

自分にその力がまだ足りていないことを受け止めるのは辛いことですが、受け止めることで人は強くなり優しくなります。思い通りにならなかつたことを受け止めることが、人を一回り大きく成長させるのです。自分の力が小さくても、受け止める自分が大きければいいのだと思います。

人生は、思い通り生きていくだけではなくて、思い通りならない自分を受け止めて生きていくのだと思います。今よりも優しく強い自分になるために……。